TADOKU JUNIOR　イソップ物語　★★☆☆☆ みじかい　260語

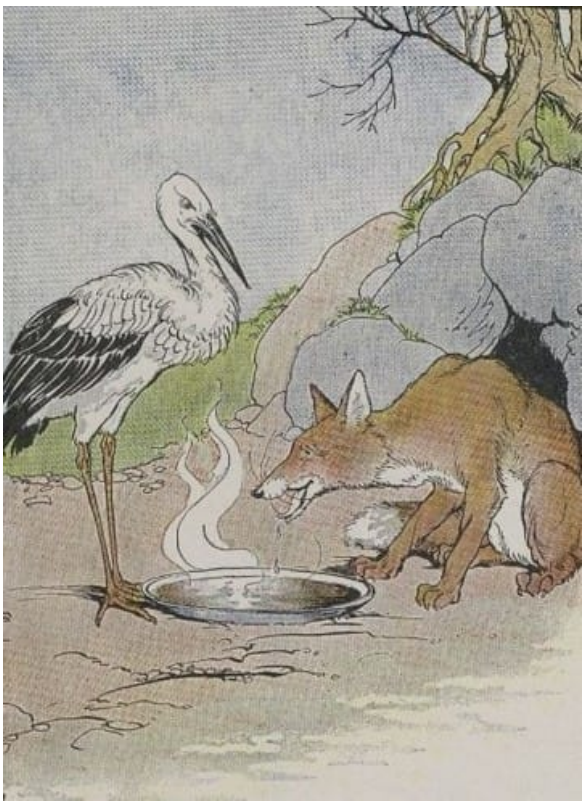
# The Fox and the Stork

## キツネとコウノトリ

Aesop（1919年の本）　**原文そのまま**　朗読：Jill Engle

人の声の朗読
を聞く・Web版

**どんなおはなし？**　キツネがコウノトリを食事にまねいて、いじわるをします。こんどはコウノトリがキツネをまねいて……。



The Fox one day thought of a plan to amuse himself at the expense of the Stork, at whose odd appearance he was always laughing.

"You must come and dine with me today," he said to the Stork, smiling to himself at the trick he was going to play. The Stork gladly accepted the invitation and arrived in good time and with a very good appetite.

For dinner the Fox served soup. But it was set out in a very shallow dish, and all the Stork could do was to wet the very tip of his bill. Not a drop of soup could he get. But the Fox lapped it up easily, and, to increase the disappointment of the Stork, made a great show of enjoyment.



The hungry Stork was much displeased at the trick, but he was a calm, even-tempered fellow and saw no good in flying into a rage. Instead, not long afterward, he invited the Fox to dine with him in turn. The Fox arrived promptly at the time that had been set, and the Stork served a fish dinner that had a very appetizing smell. But it was served in a tall jar with a very narrow neck. The Stork could easily get at the food with his long bill, but all the Fox could do was to lick the outside of the jar, and sniff at the delicious odor. And when the Fox lost his temper, the Stork said calmly:

> **Do not play tricks on your neighbors unless you can stand the same treatment yourself.**

ある日、キツネは、コウノトリをからかってあそぶ作せんを思いつきました。キツネはいつも、コウノトリのかわったすがたをわらっていたのです。

「今日は、ぜひうちに食事に来てくださいよ」とキツネはコウノトリに言いながら、これからするいたずらのことを考えて、心の中でにやにやしていました。コウノトリはよろこんでまねきを受け、時間どおりに、おなかをすかせてやってきました。

ごちそうに、キツネはスープを出しました。けれど、スープはとてもあさいおさらに入っていたので、コウノトリは、くちばしの先っぽをぬらすことしかできませんでした。スープは1てきものめません。ところがキツネは、スープをかんたんにぺろぺろとなめて、コウノトリをもっとがっかりさせようと、大げさにおいしそうにしてみせました。

おなかをすかせたコウノトリは、このいたずらにとてもいやな気もちになりましたが、おちついた、おだやかなせいかくだったので、おこってもしかたがないと思いました。そのかわり、しばらくして、こんどはコウノトリがキツネを食事にまねきました。キツネはやくそくの時間ぴったりにやってきました。コウノトリは、とてもおいしそうなにおいのする魚りょうりを出しました。けれどそれは、口のとてもほそい、せの高いつぼに入っていました。コウノトリは長いくちばしでかんたんに食べられましたが、キツネは、つぼの外がわをなめて、おいしそうなにおいをくんくんかぐことしかできませんでした。そしてキツネがおこりだすと、コウノトリはおちついて言いました。

> **「自分が同じことをされてがまんできないなら、人にいたずらをしてはいけませんよ。」**

## たんご と クイズ キツネとコウノトリ

| | | |
|---|---|---|
| **Fox** キツネ | **Stork** コウノトリ | **soup** スープ |
| **dish** おさら | **bill** くちばし | **fish** 魚 |
| **jar** つぼ | | |

**Q1** キツネは、スープを何に入れて出した？

① せの高いつぼ　② あさいおさら　③ コップ

**Q2** コウノトリは、魚りょうりを何に入れて出した？

① 口のほそいつぼ　② 大きなおなべ　③ あさいおさら

**こたえ**

Q1 ② あさいおさらに入れたので、くちばしの長いコウノトリは、ほとんどのめませんでした。

Q2 ① 口のほそい、せの高いつぼに入れました。キツネは外がわをなめることしかできませんでした。

**原田英語の多読ベストジュニア**

本物の英語の絵本 1,000話以上を、原文・人の声の朗読・和訳つきで。ゲーム・なぞなぞも。ぜんぶ無料・登録なし。

haradaeigo.com/tadokubestjr/

**出典** 英文：原文そのまま（1語も書きかえていません）。Project Gutenberg 電子書籍 #19994（Aesop、1919年）。パブリックドメイン。
挿絵：Milo Winter（同じ本の初版の挿絵。パブリックドメイン）
朗読（Web版）：Jill Engle（LibriVox のボランティア。パブリックドメイン）
和訳・クイズ：AIと人が作成。AIは３重チェック。人の目でも順次確認しています。